

●第2常設展示室

抽象彫刻の魅力 土谷武と堀内正和

会期:2021年4月21日(水)~6月6日(日)

日本の抽象彫刻を代表する土谷武(1926-2004)と堀内正和(1911-2001)の作品をご紹介します。
 土谷は、主に鉄という固い素材を用いながら、独自の造形感覚に基づき、しなやかで生命感溢れる作品を創出しました。
 一方堀内の作品は、幾何学的構成等きわめて知的であることに加え、機知とユーモアにも富んでいます。
 とともに京都出身である二人の作品世界は、それぞれに異なるものでありながら、かたちへのこだわりや、作品から醸し出される雰囲気明るさ・楽しさ等は、共通しているかもしれません。
 今年で土谷は没後17年、堀内は没後20年となります。今なお観る者を引きつけてやまない二人の作品を、お楽しみいただければ幸いです。

※都合により、出品作品が一部変更される場合があります。
 ※リストは生年および制作年を基準に配列しており、展示順とは一致しません。

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (高さ×幅×奥行)cm または(縦×横) cm	備考
-----	-----	-----	-------	----------------------------------	----

堀内 正和(1911-2001)

〈彫刻〉

1	四角と丸の組み合わせA	昭和31年	鉄	83×52×38	堀内冬彦氏寄贈
2	とぶ円筒	昭和35年(平成3年再制作)	鉄	238.5×51×51	堀内冬彦氏寄贈
3	うらおもてのない帯(メビウスの帯)	昭和38年(昭和52年再制作)	ステンレススチール	175×115×60	堀内淳子氏寄贈
4	27番目の立方体D	平成5年	ステンレススチール	202×94×64	堀内冬彦氏寄贈

〈版画〉

5	線美人	平成3年	エッチング・紙	35×29	堀内淳子氏寄贈
6	音楽会	平成3年	エッチング・紙	35×29	堀内淳子氏寄贈
7	分裂立方体	平成3年	エッチング・紙	35×29	堀内淳子氏寄贈
8	舌戦	平成3年	エッチング・紙	35×29	堀内淳子氏寄贈
9	オンファロス	平成3年	エッチング・紙	35×29	堀内淳子氏寄贈

土谷 武(1926-2004)

〈彫刻〉

10	仲本君の頭像	昭和25年	ブロンズ	45×28×30	作者寄贈
11	裸婦(坐像)	昭和28年	ブロンズ	106.5×52.5×86.5	作者寄贈
12	たつ I-a	昭和34年	ブロンズ	101.5×24×20	作者寄贈
13	虫 II	昭和44年	木(梨)	9×47.5×44.5	作者寄贈
14	帽子 II-b	昭和49年	ブロンズ	10.5×36.5×26	湯浅和子氏寄贈※
15	溢れるもの a	昭和49年	木(姫小松)・着色	15×14.5×13	湯浅和子氏寄贈※
16	蟬 IV-b	昭和57年	コルテン鋼	12×47.5×29	作者寄贈
17	作業台	昭和61年	コルテン鋼・軟鋼	93×190×70	作者寄贈 [常設1・2室間テラス側に展示]
18	植物空間 III(エスキース)	平成元年頃	軟鋼・チーク	68×30×30	湯浅和子氏寄贈※
19	蝶 III-a	平成6年	軟鋼	35×47×40	湯浅和子氏寄贈※
20	虫の領域 I	平成7年	軟鋼	106×204.5×205.5	作者寄贈
21	虫の領域 II(エスキース)	平成8年	鉄	24×69×28	作者寄贈 [資料]
22	開放IV(エスキース)	平成10年	鉄	19.5×25.5×24.8	作者寄贈 [資料]

上記リストの備考欄に※印のついている作品は、令和2年度新収蔵作品です。

●ロビー

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (高さ×幅×奥行)cm	備考
-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------------------	----

〈彫刻〉

1	オーギュスト・ロダン	1840-1917	三つの影	1898年頃	ブロンズ	200×180×110	
2	オシップ・ザッキン	1890-1967	恵みの木	1962-63年	ブロンズ	195×91×55	
3	木内 克	1892-1977	エーゲ海に捧ぐ	昭和47年	ブロンズ	226×53×44	
4	ジャコモ・マンズー	1908-1991	椅子にかけるエミー	1974年	ブロンズ	155×64×135	
5	エミリオ・グレコ	1913-1995	エストレリータ	1973年	ブロンズ	183×60×51	
6	リン・チャドウィック	1914-2003	坐る二人	1984年	ブロンズ	244×300×238	